



Title	第3章 広報・公募について
Author(s)	
Citation	GLOCOLブックレット. 2012, 9, p. 10-10
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/48279
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

第3章 広報・公募について

〈参加学生の募集について(日本側)〉

・募集方法

久保井SFセンター長が、日本に一時帰国中に、各研究科長およびGCOE拠点長を中心に教員を訪問し、学生の参加及び学生の渡航経費負担を依頼。また、米国に帰国後、電話及びメールにて引き続き各研究科の教員に学生の参加を依頼。兼松産学連携本部イノベーション部部長も各GCOE拠点長を訪問し本プロジェクトの主旨を説明するとともに学生の公募を依頼した。依頼先は以下のとおり。

難波啓一(生命機能研究科教授/GCOE拠点長)、掛下知行(工学研究科教授/GCOE拠点長)、谷口研二(工学研究科教授/GCOE拠点長)、山内直人(国際公共政策研究科教授)、浅田稔(工学研究科教授)、山内和人(工学研究科教授)、阿部謙三(経済学研究科教授)、大竹文雄(社会経済研究所教授/GCOE拠点長)、松村道雄(太陽エネルギー化学研究センター長)、原島俊(工学研究科教授)、片山剛(文学研究科教授)、高部英明(レーザーエネルギー学研究センター教授)、藤原守(核物理研究センター)、戸部義人(基礎工学研究科教授)、河原源太(基礎工学研究科教授)

各研究科における募集方法は研究科に委ねたが、生命機能研究科・基礎工学研究科等において研究科内公募・選考を行ったほか、

GCOE拠点長指名でも参加学生が決定され、前述のように事前研修に参加している。参加学生の所属等は別紙のとおり。

〈参加学生等の募集について(米国側)〉

9月末より浦辺隼氏(Innovation Core SEI, Inc.)、竹谷真央氏(大阪大学北米地区同総会LA地区理事竹谷誠氏ご息女、University of California Berkeley 校博士課程学生)の協力を得て、University of California Berkeley, University of California San Diegoを中心に学生募集を行った。また在サンフランシスコ日本国総領事館の協力を得て、JET Program同窓生への広報を積極的に行い、米国修士及び博士課程学生へのプログラム広報依頼を行った。各関係者はメーリングによるプログラム紹介及びクラス内での通知を行った。その結果16名の米国学生の参加となった。